

輸 送 動 向 に つ い て (5 月 分)

平成 2 1 年 6 月

1 . 輸 送 概 況

今月は、人身障害事故等による列車の遅れが一部に発生した他、下旬には予讃線での強風による輸送障害で、高速貨 2 本が運休した。

荷動きについては、大規模な減産で在庫調整が進み、生産においては底入れの兆しがでてきたものの、個人消費の冷え込みが続くなど、前月に続いて低調に推移した。

コンテナ貨物は、生産調整が継続している紙・パルプ、化学薬品をはじめ、自動車部品、農産品・青果物などすべての品目が前年を下回った他、大型連休となったゴールデンウィーク期の影響もあり、全体では前年比 80.0%となった。農産品・青果物は、国際的な穀物価格の下落に伴い飼料用となる政府米の販売が落ち込み減送となった。なお、自動車部品は前年を大きく下回っているものの、各メーカーにおいて減産幅の圧縮が進んだことから、3ヶ月連続で前月を上回った。

車扱貨物では、石油、セメント・石灰石などが前年を下回り、全体では前年比 87.2%となった。石油は、揮発油が堅調な出荷となったものの、生産活動の低迷の影響を受けた重油及び軽油が大きく減送となり、全体では前年を下回った。セメント・石灰石は、工場の減産により減送となった。

2 . 輸 送 実 績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,463	1,830	80.0%	3,153	3,843	82.0%
車 扱	669	768	87.2%	1,526	1,783	85.5%

3 . 品 目 別 輸 送 実 績 表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	112	140	-28	80.0%
	化学工業品	141	175	-34	80.6%
	化学薬品	103	132	-29	78.0%
	食料工業品	243	269	-26	90.3%
	紙・パルプ	240	329	-89	72.9%
	他工業品	110	146	-36	75.3%
	積合せ貨物	174	200	-26	87.0%
	自動車部品	43	70	-27	61.4%
	家電・情報機器	28	31	-3	90.3%
	エコ関連物資	26	30	-4	86.7%
	その他	243	308	-65	78.9%
	コンテナ計	1,463	1,830	-367	80.0%
車 扱	石油	462	542	-80	85.1%
	セメント・石灰石	55	65	-10	85.6%
	車 両	70	77	-7	90.8%
	その他	82	84	-2	98.1%
	車 扱 計	669	768	-99	87.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)